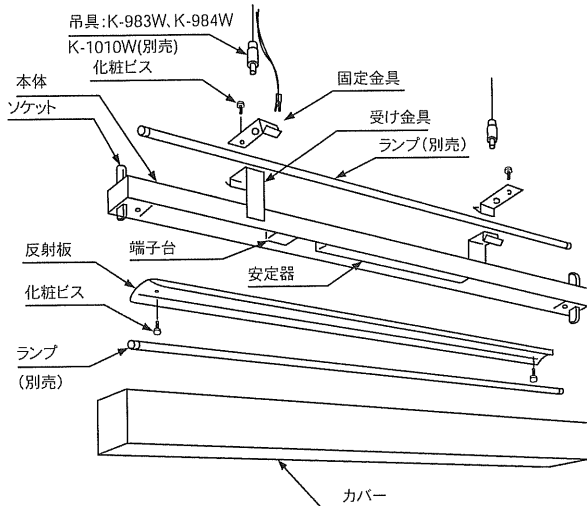
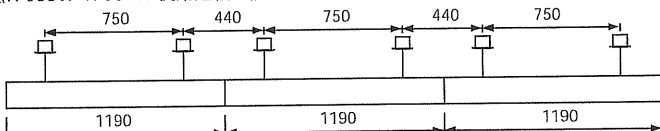


◆各部の名称 この図は一部省略抽象した共通部品線です。

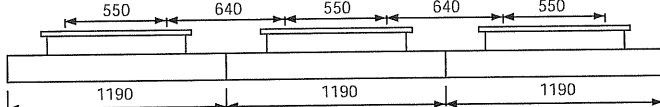


◆取付寸法

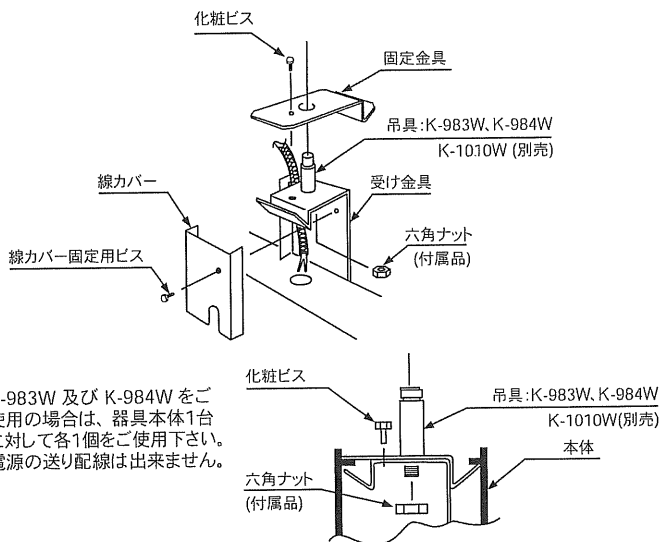
《K-983W・K-984W 使用連結時》



《K-1010W 使用連結時》



◆吊具（別売）取付方法

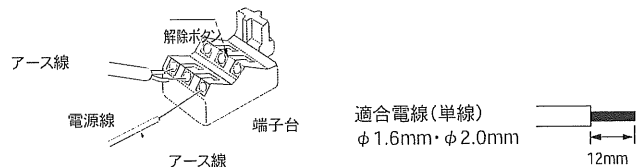


◆取付方法

1. 器具重量に耐える様、天井の取付部を確保してください。
2. 安全確保の為、電源ブレーカー及び電源スイッチを遮断してください。
3. 感電の原因となります。
3. 吊具（別売）を天井に取り付けてください。詳細は、吊具の取扱説明書をご持参してください。
4. 吊具（別売）を固定金具を通し、受け金具に六角ナット（吊具に付属）で固定してください。「吊具取付方法」参照。
5. 吊具（別売）からの電源線を器具内へ引き込んでください。「吊具取付方法」参照。
6. 吊具（別売）からの電源線及びアース線を端子台へ接続してください。「吊具取付方法」参照。
7. 線カバーを受け金具に、線カバー固定用ビスで固定してください。「吊具取付方法」参照。
8. 取り付けに不備がありますと、器具落下の原因となります。
8. 反射板を化粧ビス2個で取り付けてください。
9. 蛍光灯ランプをソケットに確実に取り付けてください。
10. 取り付けが不完全な場合、部品落下の原因となります。ガラス管を強く握ったり、ひねったりしますと、破損・怪我の原因となります。ていねいに扱ってください。
10. カバーを本体にかぶせて、受け金具に引っ掛けて固定金具で本体をはさむようにして、化粧ビスで固定金具を固定してください。「吊具取付方法」参照。
11. 点灯中や、消灯直後にランプを素手でさわりますと、やけどの原因となります。灯後20分後にしてください。
11. 連結する場合は、「連結方法」を参照してください。

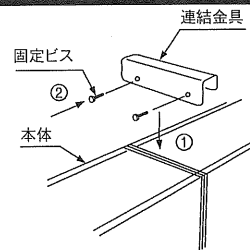
◆端子台接続方法

- 電源線を端子台に結線してください。
1. アース端子にD種接地工事を行ってください。
 2. 速結端子台のストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむいてください。
 3. 電源差込み穴に電源線を強く押し込んでください。
- （電源線をはずす時は解除ボタンをドライバー等で押してください。）
- △ 接続不完全な場合、火災・漏電・器具故障の原因となります。



◆連結方法

- ① 付属の連結金具を、本体に差し込んでください。
- ② 連結する本体同士の位置を合わせて固定ビスで固定してください。



品番	使用電圧	周波数	入力電流	消費電力	使用ランプ（球付）	オプション
LEK5017W	100V	50/60Hz 共通	1.06A	90W	H 蛍光灯 FHF54 × 2	K-983W（吊具：給電付）
LEK5017S			0.53A			K-984W（吊具：給電無）
LEK5018S	200V	50/60Hz 共通	1.06A	K-1010W（吊具）		
LEK5018W			0.53A			

△ 適合ランプ以外のランプは絶対に使用しないでください。火災・器具故障の原因となります。

△ ランプの交換の時は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

△ 3年以上お使い頂いた器具・配線は安全のため1年毎に点検をし、異常があれば交換してください。

■ 清掃方法について

△ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

● 電源工事が必要な場合は、電気工事に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買い上げの販売店か、最寄営業所へお問合せください。